

決議案第1号

イスラエルとパレスチナの市民や子どもへの全ての暴力行為を非難し、即時停戦を求める
決議

このことについて、伊達市議会会議規則第14条の規定により、別紙のとおり決議を提出する。

令和6年3月15日

提出者	議員	大光	力
〃	〃	小倉	拓
〃	〃	岩村	和則
〃	〃	小久保	重孝
〃	〃	犬塚	貴敬
〃	〃	寺島	徹
〃	〃	阿部	正明

イスラエルとパレスチナの市民や子どもへの全ての暴力行為を非難し、即時停戦を求める決議

世界を脅かすイスラエル・ガザ紛争は、この半年間でパレスチナ、イスラエル双方に死者3万人を超える深刻な事態に陥っている。特にイスラエルによる病院や難民キャンプへの攻撃で医療もままならない中、子どもたちの犠牲が増え続けている。

国連のグテーレス事務総長は「ガザは子どもたちの墓場になりつつある」と即時停戦を訴え、国連緊急特別会合では、「敵対行為の停止に即時かつ持続的な人道休戦を求める決議」を採択。

イスラエルとハマス双方をはじめとする全ての当事者は、この決議に従い、国際法を遵守し暴力行為を即刻中止すべきである。

当市議会は、「全世界の国民が、ひとしく恐怖と欠乏から免れ、平和のうちに生存する権利を有する」と憲法で宣言する日本が、国連憲章と国際法を基準に国際社会との緊密な連携のもと、市民・子どもの犠牲を食いとめ、ガザ地区への人道支援を行う道を開き、関係各国に即時停戦を強く働きかけることで、一日も早い和平が実現することを強く求めるものである。

以上、決議する。

令和6年3月15日

北海道伊達市議会